

学校トイレの洋式化整備方針について

1. 整備方針策定の目的

平成13年からユニバーサルデザインを取り入れたトイレの改修に取り組んできましたが、児童・生徒等の洋式化に対する要望があることから、平成29年7月に、全児童・生徒に対してトイレに関するアンケートを実施しました。

このアンケート等を踏まえ、快適な学校生活を送るための環境整備につなげることを目的として、児童・生徒の要望を考慮したトイレ整備方針を策定しました。

2. 現在のトイレの洋式化状況（小学校19校 中学校10校）

校 舎			全 体（体育館等を含む）		
男子	女子	全体	男子	女子	全体
50.9%	40.6%	44.1%	45.7%	36.5%	39.9%

※平成30年1月1日現在

3. 課題

● アンケートの結果

・「トイレ改修後、和式洋式のどちらのトイレを使いたいですか」の回答

仕様	男子	女子	計
洋式	92.3%	81.2%	86.8%
和式	6.9%	18.3%	12.5%

女子で約2割、全体でも1割強の児童・生徒が改修後も和式便器を要望しているため、現時点では和式も必要な状況です。

● 社会情勢

・未だに外出先には和式便器が存在するため、学校でも和式便器を使用する機会を設ける必要があります。

● 技術的な問題

・和式便器のJIS規格廃止（平成26年）に伴い和式便器の製造数が減少しています。

● 衛生上の問題

・洋式便器に比べ和式便器の方が、感染症のリスクが高くなると言われています。

4. 整備方針

洋式化100%を目指します。

ただし、和式便器の要望に対する配慮として、4・5年の移行期間を設け学校内に男女それぞれ1基ずつ和式便器を整備します。